

とやま市公民館だより

富山市教育委員会 富山市公民館連絡協議会 令和7年3月20日発行

富山市公民館研修会(後期)

令和6年11月14日(木) 八尾コミュニティセンター

《特別講演1》 落 語

落 語 家
三遊亭 良楽 氏



演目の『親子酒』は、酒好きな商家の大旦那が、同じく酒好きな息子の酒癖の悪さを心配し、共に禁酒をしようとするが、結局二人とも我慢できずに飲んでしまい……というお話。会場はこれまでになく和やかな笑いに包まれました。



プロフィール

富山市出身。五代目圓楽一門会所属。1992年真打昇進。現在は県内外において活躍中。



会長あいさつ



富山市公民館連絡協議会
会長 中村 茂信

皆様には、後期研修会にご参加いただきましてありがとうございます。今年是一年明けから能登半島地震があり、その後豪雨があり、また、全国的に自然災害が多発しております。どうしても心が沈みがちではないかと思います。そういったことから、本日の特別講演はいつもと趣向を変え、皆さんの心をすこしホットにできる内容ということで「笑い」をテーマに企画してみました。最初は富山市出身の三遊亭良楽師匠の落語一席、そして次は、富山医療生協の染谷さんに「笑いヨガ」の指導をお願いしました。

また、10月10日・11日に、富山市で東海北陸社会教育研究大会が開催されました。この大会は、社会教育委員をはじめ各市町村教育委員会、公民館、PTA、婦人会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの皆さんが一堂に会し、各地域における活動や研究成果についての情報交換を行い、社会教育の振興策について研鑽を深める趣旨で開催されるものです。分科会では、生涯学習課の本多係長様が「進化する公民館」といったテーマですばらしい発表をされました。お陰様で大会も成功裏に終えることができ、改めてご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

《特別講演2》 笑いヨガ

富山医療生活協同組合組織課長
笑いヨガティーチャー
染谷 明子氏

笑いヨガは、健やかな体と心をつくるために、笑いを呼吸法ととらえ、意識して「笑う動作をする」体操です。どんな方でも行えますし、道具も設備も必要ありません。ストレッチや筋トレを組み合わせるため、無理なく運動ができます。呼吸が深くなり、身体が温まり、爽快な気分を味わうことができます。「笑いの力」を実感し、心身の健康法として日々の生活に取り入れてみましょう。

「笑い」の効果

- *副交感神経を活性化させ、免疫力を高める
- *有酸素運動の効果
- *ストレスホルモンが軽減
- *呼吸筋の筋力向上



日本笑いヨガ協会
ホームページ



事例発表

居酒屋公民館 ～ 藤木中町の絆を深める取り組み～

藤木中町公民館館長 片山 徳雄



《地区の概要》

藤木中町は藤ノ木校下の中心にある100世帯ほどの小さな町内です。昭和43年に町内会が発足し、平成15年に公民館が落成しました。開町当初の人口は105人で、高齢者率が5%でしたが、現在は28%で、今後さらに増加が予測されています。

《居酒屋公民館の活動》

居酒屋公民館は「ちょっと公民館で話しせんまいけ」というのが始まりで、“気兼ねなく本音で話せる場”として、命名されました。

青壮年会は町内の若者を中心に発足し、行事運営がスムーズに進行できるようになりました。自主福祉防災会は高齢者支援と防災活動を目的に設立されました。防災士の資格を持つリーダーが中心となり、今年地震時には高齢者の安否確認やヘルメット配布を迅速に実施しました。これらの団体は、居酒屋公民館での会話を通じて設立が進み、町内の活性化や防災意識向上に貢献しています。他にも、毛虫被害に悩む住民の相談を受けて、ボランティアが協力して伐採作業を実施しました。困りごとが発生したときは、居酒屋公民館を中心に町内で共有して他人ごとにしなないと話し合ったところです。

《今後の課題》

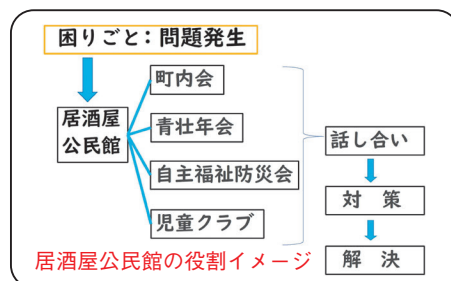
高齢化に伴い、町内会運営の負担軽減のために班の再編や役員専任制など見直しを検討中で、居酒屋公民館を活用し住民と議論を進める予定です。

《おわりに》

公民館は、災害時の避難所として、町内行事の拠点として、住民が絆を深める場所です。町内会と公民館が一体となり、人と人を結び支え合い、絆を大切にしていきたいと思っています。



青壮年会の活動



事例発表

地域を元気にする公民館 ～文珠寺公民館のプラネタリウム事業～

市立文珠寺公民館公民館主事 石 井 豪



《文珠寺公民館の地域と背景》

文珠寺公民館は富山市南東部にあり、82世帯・約200人が暮らす里山に囲まれた自然豊かな地域です。発表者は3年前に東京から移住し、地域の魅力である満天の星空に感動した経験をもとに、この地区の星座や夜空へ関心を持ってもらうため、モバイルプラネタリウムを活用したふるさと講座を企画しました。

《モバイルプラネタリウムの概要》

文珠寺公民館で使用されたのは直径4メートルの移動型プラネタリウムで、公民館の大集会室に設営し、ドーム内では地元上空の夜空がリアルに再現され、星の出現の順序や星座の結び方がわかりやすく解説されました。さらに、七夕の星の距離にまつわるエピソードなど、星空を楽しみながら宇宙の壮大さを学べる内容でした。1回の投影は30分で、2回の異なるプログラムを実施しました。

《創作ワークショップと住民の反響》

投影プログラムの合間には、住民が参加する星座ランタンの創作ワークショップを実施しました。ランタンに参加者が自由に色付けし、オリジナル作品を作ることで、子どもから大人まで楽しく取り組むことができ、この企画を多彩なものにしました。参加者から「また見たい」、「次回は夏の星空を見たい」といった要望が寄せられています。

《地域活性化の効果と展望》

地域の自然や環境に目を向け、星空を楽しむ体験を通じて、住民が元気になるきっかけを提供する公民館の役割を実感しました。今後も、住民の興味を引き出し、地域の活性化に貢献する事業を展開・継続する方針です。



モバイルプラネタリウム外観



星空を楽しむきっかけに

地域の人々の命を守る公民館 ～多発する自然災害への対応～

市立牧公民館公民館主事 谷 口 ルリ子



《牧地区の概要》

牧地区は、大山地域に属し、昭和63年に小学校が廃校になった後、少子高齢化と人口減少が進む地域です。現在、26世帯・55人が暮らし、高齢者世帯が6割を占めています。平成10年に地域の拠点として

設立された牧公民館は、自然豊かな環境の中で住民の交流や文化活動の場となっています。

《公民館を中心とした住民交流活動》

牧公民館では、高齢者と子どもが一緒に楽しむスカットボールやペタンクの交流会、手芸教室や塗り絵教室で制作した作品の展示会などを開催しています。住民は少人数ながら積極的に活動に参加して世代間交流を行い、絆を深める貴重な機会となっています。

《防災意識を高める取り組み》

令和6年に発生した能登半島地震と豪雨災害を受け、当地区でも高齢者を中心に防災への不安が高まりました。これを受けて、市の出前講座で、土砂災害ハザードマップの活用方法や地域特性に基づいた避難行動を学ぶ機会を提供しました。また、牧公民館が指定緊急避難場所及び臨時着陸場所となっており、住民が災害時の避難行動を確認する場ともなっています。

《課題と今後の展望》

牧地区では、高齢化が進む中で避難支援者の体制整備や、避難行動要支援者への支援計画が課題とされています。公民館を拠点に、住民が自ら命を守る意識を高めるとともに、地域全体で支え合う仕組みを構築する必要があります。今後も防災学習を繰り返し実施し、災害に強い地域づくりを進めていきたいと考えています。



防災の出前講座

牧地区の特性

河川沿いの低地よりも高い位置にある平坦地で土砂災害警戒区域は、概ね段丘に属する。

斜面沿いでは大雨による落水や崩壊、地滑りなどの恐れがある。

わが町新築公民館紹介

安野屋地区

磯部公民館

館長 清野 寛子

昭和38年から磯部町1丁目の集いの場として親しまれてきた磯部公民館ですが、老朽化のため、公民館建設検討委員会にて建替えの検討を重ねてきました。この度13年越しで計画が具体化し、市の補助制度を利用して建設することになりました。(今年3月完成予定)

新しい公民館は、以前の2階建てから平屋建てになり、靴を脱がずに利用できる土間スペースと、小上がりのある便利なデザインに生まれ変わります。また、正面はガラス張りで開放感あふれるエントランスとなります。

完成後は町内会や住民の活動拠点として、多くの方が気軽に集まり、親睦を深められる場にしていきたいと考えています。(延床面積53㎡)



完成イメージ

富山市文化財保存活用地域計画について

富山市教育委員会 生涯学習課 文化財係長 尾島 志保

近年、少子・超高齢社会の進展により、獅子舞など地域の伝統芸能をはじめとする文化財の存続が危ぶまれています。これらは地域の歴史や文化を語る上で欠かせないものであり、地域のアイデンティティともなるものです。これらを未来へ継承し、地域振興に活かしていくためには、住民・民間団体・行政など地域総がかりで取り組んでいくことが大切です。



重要文化財浮田家住宅

富山市では令和5年度より、市内文化財の保存と活用に関する将来像や、今後の取り組みなどを示す「富山市文化財保存活用地域計画」の作成を進めています。この計画の対象は、指定等文化財のみならず、各地域に残る未指定文化財も含まれます。

計画の令和8年度完成を目指して、今年度は、市民のみなさんと一緒に考えるためのワークショップ「常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう」を開催しました。ここでは各自が興味のある文化財や歴史文化について語り合い、それらを保存し活用していくためのアイデアを出し合いました。参加者の中には、実際に文化財を活用したまちづくりに取り組む方々もいらっしや、昔の街道を復元し歩行会を実施しているといったお話を聞くことができました。



ワークショップの様子

それぞれお住まいの地域にはどのような文化財があるのでしょうか。これからも末永く地域の宝が引き継がれていくよう、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

市立蜷川公民館改築

現在の蜷川公民館は昭和57年に建築され、地域の生涯学習の拠点として様々な事業を行ってきました。

新公民館の建設計画は、令和4年度に着手した基本設計から始まり、令和5年度に実施設計を行い、令和6年10月からいよいよ工事に着手しました。計画を進める中で、自治振興会をはじめとして地域の方々にご協力いただきましたこと、大変感謝しております。

新たな公民館は、地区センター、図書館に加え、児童館、健全育成室の機能を持った複合施設となっています。公民館は平屋建て、土足利用とし、ご高齢の方にもご利用いただきやすい施設となっており、大きく中庭を設けたことにより公民館事業の幅を広げることができます。

これにより世代間交流を促進し、地域コミュニティの醸成により一層貢献できる施設になると期待していますので、ぜひ新しい公民館を積極的に利用していただきたいと思います。



完成イメージ

自治公民館整備の補助事業・貸付事業

富山市では、町内会等で整備する公民館(自治公民館)の建設や修繕にかかる費用に対して補助や貸付を行っています。

① 富山市公民館及び公民館類似施設建設補助金

補助額 補助対象事業費の1/5

新築 上限2,200千円～3,500千円(世帯数による)

修繕等 上限500千円

※補助対象事業費が500千円未満であるもの及び前回補助を受けてから5年を経過しないものについては制度を利用できません。また、別の補助金と重複して交付を受けることはできません。

② 公民館類似施設整備資金貸付事業

貸付金額 補助対象事業費の1/2

1施設につき1,000千円～10,000千円

利 率 変動するため、お問い合わせください。

(令和6年3月時点 0.5%)

貸付期間 10年以内

※貸付については、地縁による団体の認可などの要件があります。

原則、どちらの事業も工事着手の前年度に意向調査を行い、工事予定有と回答いただいた公民館のみ対象となります。

また、補助金の申請をした年度中に工事が完了することが条件となっています。

詳細については、必ず事前に生涯学習課(TEL076-443-2137)又はお近くの市立公民館にお問い合わせください。



編集委員

清水 孝夫(市公連推薦)

森川 美子(市立広田公民館)

上村 弘樹(市立小見公民館)

山本 桂三(市公連推薦)

見高 知子(市立新保公民館)

八朝 淳子(市立室牧公民館)

藤田 和則(市立八人町公民館)

若林 祐子(市立上条公民館)



◇…発行者

富山市教育委員会
富山市公民館連絡協議会

所在地

富山市新富町一丁目2番3号
C i Cビル3階 市民交流館内

TEL 076-431-4569…◇